

平成 25 年 8 月 12 日

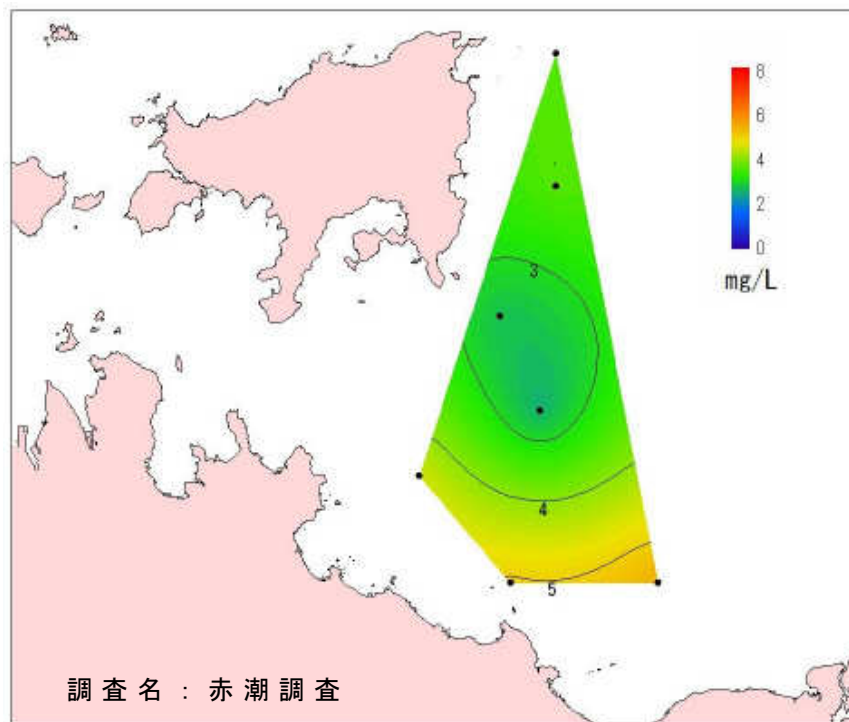
播磨灘貧酸素情報（第 3 号）

香川県水産試験場

8 月 12 日観測結果

前回(8月8日)より貧酸素水塊の分布域が少し狭くなっていますが、小豆島南東部では依然、溶存酸素濃度(DO)が3mg/Lを下回る状態が続いています。

向こう一週間も猛暑日が続く予報のため、貧酸素状態がしばらく継続するものと予想されます。引き続き動向に注意が必要です。



底層の溶存酸素濃度分布

溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。